

## ロボットと暮らす未来社会&ロボ研究室ツアー

日時：令和4年8月23日（火）9：55～12：10

場所：千葉工業大学津田沼キャンパス2号館3階大会議室

参加者：30名

講師：千葉工業大学未来ロボット技術研究センター 先川原正浩室長  
千葉工業大学 先進工学部4年生、大学院生の先輩方



### 日本や世界の最先端ロボットを学びました

先川原先生



### ロボットの紹介・実演

### 操縦させてもらいました

僕たち大学生が製作・研究しています！

壁でもどんどん登っていきます！

世界大会で優勝しました！

### サッカーロボの動きにびっくり

ドローンのはねは偶数なんだな…

#### 【受講生の感想】

- いろいろなロボットがあり、とても興奮しました。その中でも、段差を乗り越え、のぼれる、カタピラが付いていて変形するロボに興奮しました。実際に操縦させてもらい、少し難しい所も知りました。
- 普段は見る事ができないようなロボットなどを見ることができてとても楽しかった。また、実際にどのような場面で使われるのか解説してくださったおかげでとても学習になった。ロボットの中にも様々な数学的な要素があって、すごいと思った。
- 学生さんの作っているロボットがどれも個性的で、しかも実用した時のことも考えていてとても楽しかったです。人との共存が近い将来に実現できるように思えました。
- 今回は、近くでロボットが運動している場面を見ることができました。よく映画や「フィクションドラマ」で見かけるような変形ロボットや、人型ロボットの制作について聞く事ができ、大変興味深かったです。
- 講師の方の「AIの思考回路は人と全く違う」という話が面白かった。確かに、人間は単語に対して「それが何なのか」理解して使っているが、AIは特徴・経験から考えていると思った。
- 見学の中で普段思っている以上にロボットに頼っていることに気づいた。自動に流れるトイレや、自動で開くドアなど、人間を感知する仕組みを更に知りたいと思った。
- 私は最後に行った開発途中のロボット達がとても気に入りまして。特に風圧で壁に貼りつくロボットは、止まる時もしっかり吸盤で止まるように考えられていて、私もそのようなロボットを作りたいです。
- 企業のニーズに沿ってロボットを製作できる、千葉工大の方々もすごいと思った。左右の動作の一致やAIを使用したロボットを自分も製作できるようになりたい。「ドローン」についてくわしく教えてもらったので、それを考えながら自分のドローンも操縦しようと思った。